

各館開催講座のご案内（2018年12月～2019年3月）

新潟県立近代美術館

改修工事のため休館中
(～2019年8月末*予定)
TEL 0258-28-4111
長岡市千秋3丁目278-14
<https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

新潟県立万代島美術館

TEL 025-290-6655
新潟市中央区万代島5-1
朱鷺メッセ内 万代島ビル5階
<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

新潟市美術館

TEL 025-223-1622
新潟市中央区西大畑町5191-9
<http://www.ncam.jp/>

新潟市新津美術館

TEL 0250-25-1300
新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1
<http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

開催日時	講座名/講師	講座内容	会場、申込、定員など
新潟市美 12月15日(土)	ピカソとロシア	20世紀の初め、革命前のロシアでは、ピカソやマチスの革 新的な芸術にいち早く反応したコレクターや芸術家がいまし た。のちにロシア・アヴァンギャルドと呼ばれる大きな動きを 生み出していききっかけとなった、ピカソとロシアのつながり をご紹介します。	新潟市美術館 2階講堂
	14:00～15:30	前山 裕司 (新潟市美術館 館長)	無料/申込不要/100名
新潟市美 2019年 1月19日(土)	ウィリアム・モリスと19世 紀後半のイギリスの暮らし	ウィリアム・モリス (1834-96) がデザインした草花がモチ アの甘美な壁紙やテキスタイルは、今日でも世界のベストセ ラー商品です。しかし、彼がそうした製品を通じ「素敵なく らし」を描かなければならなかったのは、「そうでない現 実」が英国社会に蔓延していたから。時代背景からモリスの意 義を見つめます。	新潟市美術館 2階講堂
	14:00～15:30	星野 立子 (新潟市美術館 学芸員)	無料/申込不要/100名
万代島美 2019年 1月26日(土)	大正から昭和初期の日本 画：国画創作協会を中心に	大正7年、既存の日本画壇に異を唱えた土田麦僊ら新進気鋭の 画家達によって「国画創作協会」が結成され、数々の名作、 話題作が生み出されました。大正から昭和初期にかけては近 代日本画が大きく変化した時期。当時描かれた多様な作品の 魅力についてお話しします。	NICOプラザ会議室 (朱 鷺メッセ内 万代島ビル 11階)
	14:00～15:30	池田 珠緒 (新潟県立万代島美術館 学芸員)	無料/申込不要/30名
新潟市美 2019年 2月16日(土)	イタリア・マニエリスム と芸術家列伝	これぞ美術史のマイナージャンル！ルネサンスとバロック の間には「マニエリスム」という美術様式の時代がありまし た。今から500年前にヨーロッパを賑わせた、ちょっと不思議 でヘンテコリン、個性豊かな芸術家たちの作品とその人生に まつわる物語をご紹介します。	新潟市美術館 2階講堂
	14:00～15:30	見矢野 あゆみ (新潟市美術館 学芸員)	無料/申込不要/100名
新津美 2019年 3月3日(日)	エドワード・ゴッリーの 不思議な世界	子供も大人も夢中になる絵本作家、エドワード・ゴッリー (1925-2000)。その世界観は様々な「不思議」に満ちていま す。驚くほど緻密なモノクロの挿絵や、グロテスクな物語を 軽快なリズムで紡ぐ彼の作風は、多くの読者に「不気味」 「怖い」と評されてきました。ゴッリーがインタビューで語っ てきた言葉を引用しながら、作品の魅力に迫ります。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム
	13:30～15:00	斎藤 未希 (新潟市新津美術館 学芸員)	無料/申込不要/60名
新潟市美 2019年 3月16日(土)	世間を騒がせた画家たち	藤田嗣治 (1886-1968) や東郷青児 (1897-1978)、岡本太郎 (1911-1996) は広く一般の話題をさらった文化的スターで した。彼らのような存在は、今の美術界にはいないかもしれ ません。戦後日本の文化史・風俗史を彩った画家たちの逸話を 通じて、世の中と美術との関わりを考えてみます。	新潟市美術館 2階講堂
	14:00～15:30	藤井 素彦 (新潟市美術館 学芸員)	無料/申込不要/100名